

令和6年度 岡山県高等学校 PTA 指導者研修会 参加報告

開催日時 令和6年11月12日 13:00~16:35

会場 ピュアリティまきび

大会趣旨 PTA 活動を通じて青少年の健全育成を図るため、高等学校の PTA 役員等を対象に、望ましい PTA 活動の在り方や様々な人権問題についての理解と認識を深めるための研修を行い、指導者としての資質の向上を図る

参加者 県内高等学校及び中等教育学校(後期課程) PTA 指導者・PTA 役員・PTA 担当者等

内 容

【第1部】 情報交換・人権教育ワークショップ・説明

第1部では、各学校の PTA 運営の効率化や充実のための工夫や意見反映のための工夫等について、また活動状況について事前提出の書類を参考にしながら情報交換をしました。

人権教育ワークショップでは、自殺予防教育について学びました。小中高生の自殺の推移が増えていること、自己肯定感の育成の大切さや子どもたちの SOS に気付き寄り添う姿勢や受容傾聴の会話、子どもの自傷行為への対応について知りました。

【第2部】 講演「市販薬の問題使用とその背景について理解を深める」

講師：地方独立行政法人岡山県精神科医療センター 臨床研究部長 橋本 望 氏
ワークショップ・説明

第2部では、高校生における市販薬の乱用経験は違法薬物の約10倍以上も高いことや、高校生の60人に1人が過去1年以内に市販薬の乱用経験があるということ、また乱用経験のある高校生の特徴は社会的に孤立した状態であったことなどを学びました。依存症患者は他者不信が背景にあることが多く大切なのはまず受け止めてくれる人が周りに増えていくことだそうです。現在はゲートキーパーとして薬剤師がドラッグストア等の実店舗で購入時に声掛けや情報提供等を積極的に行う取り組みが広がりつつあります。

感 想

今回他校との情報交換を通してそれぞれの学校の PTA 組織の構成や運営状況を知ることが出来、円滑な活動のためにどのように取り組んでいるのかを聞くことが出来ました。PTA 活動のさらなる活性化を目指すうえで新たな取り組みへのヒントを得られ、これからの活動に役立てていきたいと思いました。

また、今回の講演内容の市販薬の乱用をはじめ高校生が抱えるトラブルや悩みについて、保護者世代では知らないことが多く、まずは知ることの大切さを感じました。

PTA 副会長 平丸裕子